

## 1. 紹介する技術の特徴

### 「幼苗接ぎ木を利用したポット栽培」

#### <特 徴>

低樹高で管理できるので、作業性が良く、新規就農者や高齢者でも栽培可能です。密植栽培により、数年後には成園並みの収益を上げることができます。

#### <導入に適している方>

新規にカキ栽培を始める方。

圃場の土壌条件が悪い方。

### 「既存樹の早期樹形改造法（すばっと主枝再生法）」

#### <特 徴>

すでに栽培しているカキの樹を地上約 60cm で主幹や主枝をすばっと切って、樹形を新たに仕立て直します。どのような樹形の樹でも適用でき、作業が画一的なため栽培初心者でも取り組みます。

#### <導入に適している方>

樹高が高くなり、作業効率が悪くなっている方。

放任園等の樹形の乱れた樹を再生したい方。

### 「結果母枝先端芽せん除処理による省力化」

#### <特 徴>

せん定の際に、残す結果母枝の先端数芽をせん除することで、結果母枝の着蕾数を少なくし、摘蕾作業時間を減らします。

#### <導入に適している方>

摘蕾作業が適期に終わられず、作業量を減らしたい方。